

鬼無里村史目次

地理と気象

第一章 位置と境域……………2

- 位置…2 境域…3 裾花川と鬼無里盆地…4 小川盆地…6 大川盆地…7 昔の部落と本村(町)からの距離…8 江戸時代の隣村との境…12 小字名…13

第二章 地質……………24

- 地質概況…24 地質層序…26 地質各説…26 鉱泉…32

第三章 気候……………33

- 一 概説…33 気候とは…33 鬼無里の気候の特性…35
- 二 鬼無里の四季の気候 季節の分類…41 冬の気候…43 春の気候…48 夏の気候…53 秋の気候…64 鬼無里の気候表について…69 裾花民謡歌詞…76

鬼無里村の先史・原史時代の考古学的調査

第一章 先史時代……………78

- 一 先土器文化 概要…78 鬼無里村の先土器文化…81
- 二 縄文式文化 概要…83 鬼無里村の縄文文化…92
- 長野県上水内郡鬼無里村「木曾殿アブキ」の調査…93
- 縄文文化前期…96 縄文文化中期 財又遺跡…98 中村遺跡…99 縄文文化後期遺跡 中村遺跡…101 根上り内

裏屋敷遺跡…104 縄文晩期遺跡 根上り内裏屋敷遺跡…105

第二章 原史時代……………109

- 一 弥生式文化 概要…109 鬼無里村の弥生式文化…112
- 一の坂遺跡…112 和田沖遺跡…113 二古墳文化 概要…114

第三章 考古学から見た上代……………120

- 一 上代の文化 概要…120 鬼無里村の上代の文化…122
- 牛平遺跡…124 まとめ…125

鬼無里村の歴史と政治

第一章 上代・中代……………130

- 一 上代…120 二 中世 戸隠社…131 小河庄…132 木那佐山…133 五輪塔…133 三 戦国時代の鬼無里 大日方氏…135 香坂能登守…136 小笠原氏の侵入…137 四 領主歴代…137 五 村の古事と村名…140 日影…141 親沢…142 六 古文書 古文書と鬼無里…144 中牧文書…147

第二章 江戸時代……………149

- 一 江戸時代の法制 村役人…149 鬼無里村役人一覧…151 日影村村役人一覧…156 村役人の給料…157 家格と村役人…158 二 村の掟 村寄合…161 村極…162 御高札とお触れ…164 小前騒動…169 着物…172 三 献金…173
- 四 藩主の領内巡見…175 五 和宮御下向と鬼無里村

：182 六 献上物 御用蔵：189 追鳥上納：191 熊運上：
：192 そば：193

第三章 明治以後の政治

一 明治以後のうつりかわり 明治の初期：194 松代県
：195 長野県のはじまり：195 区制時代：196 大小区制
時代：197 郡町村制：198 聯合町村役場：199 町村制の
実施：199 鬼無里村と日影村合併と村名変更の件：200
上水内郡役所の開設：201 区制：201 部落常会の設置：
202 役宅と役場：202 村三役：204 区長：208 二 議会
国会：212 県会：212 郡会：213 村会の沿革：213 選挙
管理委員：215 村会議員：216 功勞者：219 国及県自治
功勞表彰者：219

人口と戸籍

第一章 江戸時代の戸籍

一 人別改：222 二 五人組制度：224 三 人詰改 小
鬼無里村人詰御改帳：225 日影村中組人詰御改帳：226
日影村西京組人詰御改帳：228 四 五人組人別改帳 鬼
無里村五人組軒別人別御書上帳：230 鬼無里村上組軒別
人別五人組改帳：239 鬼無里村東京組人別五人組御改帳
：249 鬼無里村五人組軒別御改帳：252 日影村五人組御
改帳：258 日影村西京組五人組御改人別帳：263 日影村
五人組御改帳：267 五 宗門改 日影村西京組宗門人別
御書上帳：270 鬼無里村宗門人別御改帳：273 日影村宗

門御改人別帳：275

第二章 婚姻と奉公人

一 婚姻：277 二 奉公人：280

第三章 明治以後の戸数と人口

一 明治五年の調査 明治五年寺島宗伴翁書止：282 昔
の苗字と名に就て：285 二 大正三年の戸数人口：287
三 明治三十八年の年令調べ：288 四 鬼無里村人口動
態：290 部落会名とその世帯数：291 五 部落別戸数の
変遷：297

産 業

第一章 農業

一 米 米作の今昔：306 品種の変遷：311 農具の発達：
312 肥料：313 病虫害の駆除予防：314 社倉：315 二 麻
：315 大麻の生産：317 販路と用途：322 三 麦類：324
四 大小豆：324 五 玉蜀黍：325 六 馬鈴薯：326 七
甘藷：327 八 蕎麥：327 九 稗・粟・黍：328 一〇 野
菜類：329 一一 養蚕 明治時代の鬼無里村の養蚕：330
昭和期の養蚕：331 最近の掃立量及び收購量：337 一二
たばこ：338

第二章 副業の発達

一 蠶糸：339 二 紙すき：340 三 家畜家禽類：341

牛馬御買上帳：312

第三章 農業団体

一 農会……343 二 産業組合・農業協同組合……344 三 金融機関……347 四 農地委員会と農地改革……348 第一次農地改革……348 第二次農地改革……349 四 農業委員会……351

第四章 工 業……………352

一 江戸時代の職種と税金 諸職人冥加銀覚……352

第五章 商 業……………354

一 江戸時代の鬼無里商人……354 二 鬼無里定期市……355

最近商況……356

第六章 林 業……………358

一 鬼無里の林野……358 二 製炭……361 製炭釜数……362

三 維新前の村有林……363 山番……363 御巢鷹……365 材木

伐出し……365 山流し……368 山貸し……369 御林取締……371

四 維新後の村有林 両村入会時代……372 地券丈量……372

両村大字分……372 分割書……372 官民境界査定……373 一部

財産造成……373 官行造林……375 水源造林……377 国有林地

の払下……377 一部財産統一に関する協定の概要……377 五

森林組合……380

第七章 山 論……………382

山内村・上下新倉村と志垣村・西条との山論……382 日下

野村と日影村の堺……383 鬼無里村と栃原村との山論……384

鬼無里村と戸隠神領との境……385 南小谷村・中土村と鬼

無里村との境界……387

経 済

第一章 昔の鬼無里村の生活……………390

一 貨幣と相場 貨幣……390 相場……392 二 昔の鬼無里村のくらし 住居……398 衣服……399 食物……400 医療……403 娯楽……403

第二章 江戸時代の土地制度と貢租……………404

一 土地制度 領主……405 検地……406 寛文六年の検地……407

二 貢租 班田制……417 石盛……418 鬼無里村の税率……419

年貢割付状……420 皆済目録……424 検見……428

第三章 明治以後の租税……………430

一 地租改正……430 維新直後の農民土地所有状態……432

明治八年の地価金の設定……432 地番設定……434 地券……435

現地目調査……436 二 聯合戸長役場時代の村費……437 三

鬼無里村財政概況……443

厚生・災害

第一章 厚 生……………450

一 藩政時代の衛生……450 二 医事……450 三 衛生……451

鼠族昆虫駆除衛生班……452 環境衛生推進委員会……452 伝

染病の発生と隔離病舎……453 四 国民健康保険……454

第二章 社会事業……………457

一 鬼無里村社会福祉協会……457 二 民生児童委員……459

国民年金関係……463

第三章 災 害……………464

一 弘化四年大地震……464 二 火災……468 宝暦六年西京

村大火災……469 三 江戸時代の凶作と風水害 延宝の凶

作…470 天明の飢饉…470 文化十年困窮…470 天保の飢饉…470 文久二年洪水…472 慶応元年二年洪水…472 四明治以後の災害 明治二年凶作…474 その後の災害と凶作…475 五 豊年…477

第四章 善行…477

教育・文化

第一章 教育…480

一 明治以前の教育 学校の創設…480 寺小屋…480 二 鬼無里村の学校 鬼無里小学校…490 教育勅語謄本下賜…492 国民学校…494 六三制…494 鬼無里東小学校…495 鬼無里西小学校…496 日影小学校…498 歴代校長…500 実業補習学校…501 青年訓練所…501 鬼無里青年学校…502 鬼無里中学校…502 中学校体育館…506 長野吉田高等学校鬼無里分校…507 教育委員会…509

第二章 文化…511

一 公民館のあゆみ…511 公民館の創立…511 鬼無里村公民館規定…513 予算…514 改選役員…515 二 公民館の活動…516 公民館報の発行…516 図書館の設備…517 学級講座…517 文化祭…519 村民運動会…519 歴代公民館長…520 三 婦人会…523 四 青年のあゆみ 1 若者連…528 2 明治維新以後…528 3 明治中期よりの青年会…529 4 鬼無里青年団…534 5 戦後の青年団のあゆみ…538 鬼無里村連合青年団々則…543 鬼無里連合青年団昭

和三十四年度収支決算…546 体育指導委員会…547

警備

第一章 兵制…550

一 藩政時代の兵制…550 二 廃藩以後の兵制…551 三 戦争…553 西南の役戦死者…554 本村より支那事变、大東亜戦争に出征された勇士数…555 戦役別戦死、戦病死者名…556 鬼無里村兵役優待会…559 鬼無里村軍人会…559

第二章 司法…560

一 藩政時代の司法…560 二 明治以後の司法…564

第三章 警備…565

一 藩政時代の警備…565 二 廃藩以後の警備…566 鬼無里村巡查駐在所の沿革…567 歴代受持巡查…568 三 消防…569 消防組の創立…569 鬼無里村警防団…570 鬼無里村消防団…571 本部並分団区分…572 機械器具…573 歴代団長…573

交通・通信

第一章 交通…576

一 江戸時代の交通…576 日影口留番所…576 往来手形…577 公用通行…578 舟銭…579 二 江戸時代の鬼無里の交通路 1 松代往来…580 2 食糧補給…580 3 善光寺参詣往来…580 4 戸隠往来…580 5 高府往来…581 6 安曇往来…581 その他の古道…581 長野白馬線の開通…584

三 明治以後の交通路 維新後の北城長野線：587 北城
村外三ヶ村土木組合設立：591 越後街道の計画：593 鬼
無里街道交通運輸調査表：594 戸隠街道：595 高府・戸
隠線：596 川中島自動車株式会社：596 近村部落との交
通：597 四 現在の道路と車輛 市町村道：600 県道：
601 車輛：602 土木組合：603 道路改築規程附表：604
大川林道開通の頌徳碑：606 村内道路調査について：607
和田橋：608 裾花ダム建設に伴う鬼無里村の対策につ
て：612

第二章 通信

一 概説 江戸時代の通信：617 郵便制度の誕生：618
郵便切手の変遷：619 電信電話のはじまり：619 二 鬼
無里村の通信 鬼無里郵便局：621 歴代局長：622 鬼無
里村電信電話：623 鬼無里村有線放送電話：623

宗教・伝説

第一章 社 寺

一 総説 全国神社及神官神職数：626 仏教各宗の起源
と本山：626 墳墓の変遷：627 二 神社 明治十五年鬼無
里村神社調：628 明治十五年日影村神社調：630 旧郷社
白髻社：630 旧郷社鬼無里神社：633 加茂神社：635 諏
訪神社：637 松原神社：639 春日神社：639 三島神社：
641 荒倉山神社：642 皇大神社：643 皇大神社：643 皇
大神社：644 金刀比羅社：645 金刀比羅神社：645 十二

神社：646 津島神社：646 十二神社：647 天神社：647
日之御子神社：648 虫倉神社：649 十二神社：649 江戸
時代の堂宮改帳：650 鬼無里村：650 日影村：651 万延
二年鬼無里村社寺堂改御書上帳：652 天保九年日影村惣
人数寺堂改御書上帳：653 三 寺院 松巖寺：655 正福
寺：659 大龍寺：660

第二章 伝説

一 力寿と木曾殿あぶき：662 木曾殿あぶき：664 二 遷
都と鬼無里：664 三 大日方金吾：665 四 元穴と山居岩：
668 五 鬼女紅葉の伝説：669 六 西行法師と裾花川：683

第三章 口 碑

一 仏堂と口碑 土倉文珠堂：684 大日如来と地藏菩薩
：685 山角観音堂：686 松島大日堂：687 新井正観音：
687 二 土地と人物 一夜山：687 十二の宮の森：688 宝
山：688 田之頭部落の地名：688 大平部落と親鸞聖人：
688 根上りの松：689 大龍寺と諏訪明神：689 赤鬼の佐
治兵衛：690 寺院の旧跡：690 川浦部落の五輪：690 三
城跡 山角の城山：691 有沢の城跡：691 木曾殿城：691
城ヶ峯城：691 飯綱城：691 虫倉山柏鉢城：691 古城：
691 蓬平城：691 大日方佐門の館：692 四 その他の伝
説 白髻神社と蛭：692 埋が淵：692 ちいが山：692 維茂
柳：692 稜石・機石：692 三地蔵：693 淡路様：693 後
藤の屋敷：693 蜘蛛ヶ淵：693 かつらの木：694 鳩平の
化物：694 葛畑の薬師堂と地藏堂：694 竹田の児安様：

694 魚山：695 四 景勝 銚子口の溪谷：696 奥裾花峽
の深潭：696 秘境不婦谷：698 宮下晤三氏著の町附近の
地名考：698 補遺 大平阿弥陀如来縁起：701 松巖寺本
堂屋根模様替工事施行：702

人物・習慣

第一章 人 物……………704

一 寺島宗伴：704 二 和田善重郎：708 三 風間慶一
郎：709 四 中村寅作：711 五 熊沢安蔵：713 六 和
田軍治郎：714 七 中村厚：715 八 坂本倉治郎：716
九 松本大多郎：716

第二章 民俗……………718

一 民俗習慣の一斑：718 二 冠婚葬祭等の慣例 出生：
718 冠儀：719 婚儀：719 死亡及葬儀：720 三 年中行
事：721 新年：721 其他の年中行事：723 四 お講の事：
728 五 方言：730 六 郷土の植物：734 七 灯火：738